

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		37300	小学校教諭補助員配置事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	学務班
実施体系		基本施策	11	学校教育の充実	根拠法令	旭市小学校及び中学校教諭補助員取扱要綱	10	2	2	事業種別
		施策の展開	21	教育支援体制の充実	戦略事業	112	小・中学校教諭補助員配置事業			☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業
		施策の展開			戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない				
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 13 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市内小学校に教諭補助員を配置し、担任の指導を補助しながら、児童への学力保障を十分に行うことを目標とする。また、発達障害や肢体不自由で学習支援が必要な児童に寄り添い、個別指導の充実とともに基礎基本の徹底を図っていく。また、5、6年生を対象に英語教諭補助員を配置し、外国語(英語中心)活動の充実と国際理解教育の推進を図る。				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
保護者や地域住民から、教育の充実のために教職員数を増やしてほしいという要望が高まってきたため	学習支援が必要な児童は年々増加している。		教諭補助員の数は年々少しずつ増えているが、それ以上に、発達障害等で学習支援の必要な児童の増加率が高いため、併せて学級全体が落ち着いて学習できる環境を保障するために引き続き教諭補助員の数を増やしてほしいという要望が高まっている。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1. 共済費	1,444	社会保険料
2. 賞金	22,076	臨時職員賞金
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1. 国庫支出金		
2. 都道府県支出金		
3. 地方債		
4. その他		

		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費	1. 共済費	千円	1,168	1,704	1,321	1,444	
	2. 賞金	千円	20,189	19,785	20,529	22,076	34,217
		千円					
		千円					
		千円					
財源	事業費計 (A)	千円	21,357	21,489	21,850	23,520	34,217
	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	21,357	21,489	21,850	23,520	34,217

前年度	
増減理由	

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

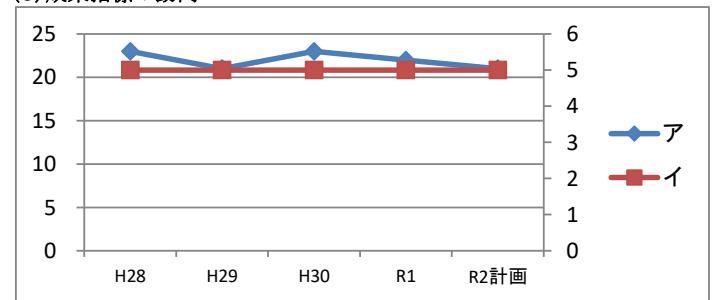
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)		ア 配置人数	人	20	20	20	22	23
目的	・辞令交付式 ・勤務説明 ・出勤簿集計 ・登録受付 ・採用選考(面接、書類審査) ・授業参観		イ						
	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
対象	市内小学生、保護者		ア 配置人員一人当たりの学習支援が必要な児童数(英語教諭補助員3名を除く・26年度より通常学級の要支援の児童を含む)	人	23	21	23	22	21
	学習支援が必要な児童が必要な支援を得ることができる		イ 英語教諭補助員一人当たり小学校数	校	5	5	5	5	5

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない	
大きい		②		
普通			(5)	
小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】(低下の場合、その理由)	成果指標イ		数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容		今後の方向性	
		令和2年度	支援の必要な児童数や必要な支援の状況により配置していく。		☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()	特別に支援を必要とする児童への支援及び個に応じたきめ細かな指導を行うため教諭補助員を増員し、個別指導の充実及び学校生活・学力の向上を図っていく。